

記載方法

- (1) 「取得原因」欄は、新築、増築、改築、売買、贈与、交換等、取得した原因を記載してください。
- (2) 「家屋の種類」欄は、登記事項証明書上の「種類」を記載してください。
- (3) 「家屋の構造」欄は、例えば木造瓦葺2階建の家屋は「木・瓦・2」、鉄骨造鋼板葺平屋建の場合は「鉄骨・鋼板・1」と記載してください。
- (4) 「取得年月日」欄は、契約等により所有権を取得した日を記載してください。家屋の建築については、最初の使用の日又は譲渡の行われた日のいずれか早い日を記載してください。

- (5) 「登記年月日」欄は、登記申請年月日を記載してください。
- (6) 「用途」欄は、該当する用途を○で囲んでください。該当する用途がない場合は「その他」の括弧内に用途を記載してください。
- (7) 「地目」欄は、宅地、田、畑、山林、雑種地等と記載してください。
- (8) 「取得の相手方」欄は、不動産を売買・交換・贈与等した相手方を記載してください。

記載例

申告する年月日を記載してください。

不動産の所在地を管轄する県税事務所（東部、中部、西部）を記載してください。

平成30年 3月15日		鳥取県 東部県税事務所長		住所又は地所 鳥取市東町一丁目220		※ 処理欄				
取得者 鳥取 一郎		フリガナ トリガチ		住所又は地所 鳥取市東町一丁目220		整理番号				
氏名又は称 鳥取 一郎		フリガナ トリガチ		住所又は地所 鳥取市東町一丁目220		電話番号 090-****-****				
鳥取県税条例、第84条第1項・第91条第1項・第109条第1項、第88条第1項・第105条第1項・第111条第1項、第89条第1項・第106条第1項の規定により申告します。										
家屋の取得	取得原因 (1)	家屋の所在	家屋番号	家屋の種類 (2)	家屋の構造 (3)	延床面積 (m ²)	過去1年以内に 同様となるべき 家屋を取得した 事実	取得年月日 (4)	登記年月日 (5)	用途 (6)
	新築	鳥取市東町一丁目220	220	居宅	木・瓦・2	280.58	有(無)	30・2・11	30・3・1	住宅用(自己居住)貸貸・販売等、別荘、事業(農業)用・その他
土地の取得	取得原因 (1)	土地の所在	地番	地目 (7)	地積	過去1年以内に 隣接地を取得した 事実	取得年月日 (4)	登記年月日 (5)	用途 (6)	
	売買	鳥取市東町一丁目220	220	宅地	380.22	有(無)	30・2・11	30・3・1	住宅用(自己居住)貸貸・販売等、別荘、事業(農業)用・その他	
取得の相手方 (8)	住所又は地所	鳥取市東町一丁目〇〇		共有者住所 鳥取市東町一丁目220		氏名 鳥取 花子		持分 (1 / 2)		3世代住宅
	氏名又は称	株式会社 〇〇不動産								

日中に連絡がつく電話番号を記載してください。

例えば、母屋を新築してから1年以内に車庫を建てたような場合が「有」に該当します。

※不動産取得税の軽減を受けようとする方は、軽減の要件を証明する書類を添付して県税事務所へ申告してください。

※詳しくは、不動産所在地の県税事務所へお問い合わせください。

不動産を2名以上で共同取得した場合は、取得者欄に記載した代表者以外の取得者の住所・氏名とその持分を記載し、それぞれ押印してください。

売買契約などの相手方を記載してください。

複数筆を取得された場合など、記載欄に書ききれない場合は、「別紙のとおり」と記載し、明細を記した表などを添付していただいても結構です。

3世代住宅を取得された場合は、その旨を記載してください。